

科目	芸術 (Art)		
担当教員	大倉 恭子		
対象学年等	応用化学科・1年・後期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	-	JABEE基準1(1) -
授業の概要と方針	歌唱の指導,又は個人別テスト,その時の個人指導によって,変声直後又は稀にいる変声途中の者を出来るだけ良い状態へと導きたい.カノン作曲によって既習した理論の確認と,正しく楽譜を書くことを体験させたい.生涯学習と言う観点からも,できる限り流行に左右されない曲を体験させたい.		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	基本的な楽譜の見方、書き方を知る。		歌唱のテスト、及びカノンの作品の採点時に評価する。
2	リズム、メロディーを理解しながら歌う。		歌唱のテスト時にその正確さを評価する。
3	詞の意味を理解し、歌唱に生かす。		歌唱のテスト時に音楽性の一環として評価する。
4	諸外国の曲を歌うことによってその国の音楽、言語に触れる		歌唱のテスト時に発音を評価する。
5	カノンの作曲を通して楽典を理解し、確認する。		カノンの作品の採点時に評価する。
6	様々な歌を（流行に左右されないもの、流行のもの）歌う楽しさを知る。		歌唱のテスト時に音楽性として評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	歌唱テスト,カノン2作品を同等に評価し,平常点(出席状況,授業態度等)を加減して評価する.		
テキスト	新 高校の音楽1(音楽の友社) プリント		
参考書	無し		
関連科目			
履修上の注意事項	半期の授業の間に1回の歌唱のテストを行う.実技,演習が中心の教科なので出席,授業態度も重要視する.		

